

# 北方領土問題が解決すれば...

# 北方領土問題新聞

## 北方領土問題の経緯

1855年 日魯通好条約



この条約で両国の国境は、択捉島とウルップ島の間で決められ、樺太は両国民の混住地と決められました。

1875年 樺太千島交換条約



日本は、千島列島をロシアから譲り受ける代わりに、樺太全島を放棄しました。

1905年 ポーツマス条約



日露戦争の結果、北緯50度以南の南樺太が日本の領土となりました。

1951年 サン・フランシスコ平和条約



日本は、千島列島と南樺太の権利、権原及び請求権を放棄しました。しかし、放棄した千島列島には北方領土は含まれていません。

一戸中学校

## 北方領土問題 解決のために

## 北方領土問題への 関心は...

これまで北方領土問題を解決しようと、日本は努力をしてきました。例えば出前講座や番組収録、署名などをしてモラルキャラバン隊の活動、アジア人と交流を深めるビザなし訪問など様々な活動をしてきたそうです。しかし、何も進展はしませんでした。

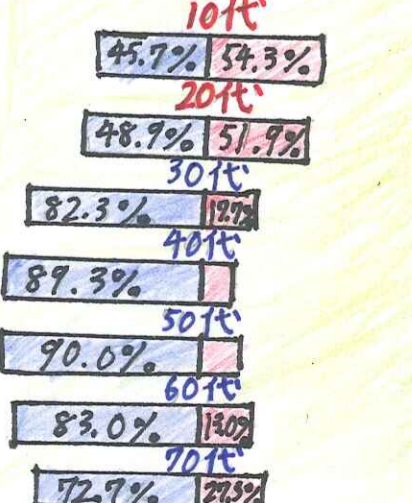
これからは、日本全体がこの問題への意識を高めるため、更に情報発信が必要だと思います。

## 問題解決することによって

北方領土が返ってきた時の事も考えてみます。もしも日本に返ってきた時にかわることは大きく二つあると思います。

一つ目は自然が戻ることです。自然が豊かな土地なので観光地としても活用ができるようになると思います。二つ目は、安全に暮らせるようになることです。漁に出たりすることも安全にできるようになると思います。もしも返ってきた場合には、このような場所にするために、定期的にゴミ拾いの活動などをすれば良いと思います。

## 北方領土返還要求運動に参加したい?



さて、北方領土問題に対する人々の関心はどのようなのでしょうか。グラフを見ると若世代の人達の関心が低い事が分かります。これは今まで何も効果が感じられなかったからではないかと思えます。ですが、多くの人がこの問題に関心をもちたいと思っています。

## 感想

今回の研修を通して私は北方領土の役に立ちたいと感じました。私がこの問題のためにできることは、情報発信をすることだと思っています。問題解決には一人一人の意識の高さが重要になってくると思うので、今回学んだ事を学校や地域の人達に伝えていきたいです。

これからのようなきこいがあれば積極的に参加したいと思います。

